

■戦争をしない動物■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 120 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

120 目次

1. ブログから：戦争をしない動物
2. 今週のお知らせ：3 件
3. まつむら塾
4. 今後の予定：今週・来週以降
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/category/p9/>

.....

1. ブログから：戦争をしない動物

アフリカの南スーダン国連平和維持活動（PKO）に参加した陸上自衛隊の部隊が、首都ジュバで昨年 7 月に大規模な武力衝突が発生した際の状況を記録した日報が廃棄されていた問題が、今大問題になっているのはご存知の通りだ。公文書の取り扱いについての議論は確かに大切だし、その取扱いについて、きちんと説明しない大臣や、その任命者の責任も確かにあるとは思う。だがそもそも、なぜこの書類が破棄されたのか。それは、今回の派遣において自衛隊が戦闘地域での活動を余儀なくされたからではなかったのか。そのことについての検証と、是非に関する議論が見事に吹き飛ばされていることが、なぜこれほどまでに論じられないのだろうか。

こうした傾向は至る所で見受けられる。北朝鮮との間で緊張が高まっているというが、金正恩とトランプが言い争っているだけのことで、周辺諸国の大多数は、「良いから頭を冷やせ」と言っている。アメリカを標的とするミサイルに対し、日本は集団的自衛権を行使すべく迎撃の準備をしているのだが、アメリカに守られている日本にとって、アメリカが攻撃されるかもしれないということは、「日本の存立が危惧される事態と言えなくはない」と防衛大臣は説明する。なるほど、安保法制とは、まさにこう言うロジックを法制化したものだ。法律に沿って戦争ができる状態とはまさにこのことだ。

僕は戦争が嫌いだ。それは、戦争が壮大な嘘だから。「国を守るために相手を殺してもいい、さもないとこちらが皆殺しにされるから。」というロジックはでたらめだ。多くの戦争は、皆殺しになる前にどちらかが負けを認め和

解する。その結果、負けた方の戦死者は騙されて無駄死にすることになる。「勝利＝皆殺しにされない」ために戦ったはずなのに、負けても生き残る人がいるとはどういうことだ。もしも初めから1万人死んだところで戦争が終わると判っていたら、あなたは進んでその1万人になるだろうか。もしも原爆を落とされたら戦争が終わると知っていたら、どうぞ私のまちに落としてくださいとあなたは言えるだろうか。結局戦争は「勝つため」にやるものだ。負け戦など誰もやりたくない。だが、戦争当事者たちはそうではない。彼らは勝てない戦と判ったら、平気な顔で降伏する。だったら自分で戦えばいい。そんなにやりたければ、国家を代表して相手と刺し違えて来て欲しい。

戦争に関する核心の議論は、いつも避けられていると僕は思う。戦後日本の合意事項は「戦争放棄」であることに異論を唱える者はどこにもいない。これは戦後世界が目指したことであり、国連はそのための国際機関だ。憲法第9条の記述は、当時の世界の理想を言い表したものであり、それはお仕着せでも何でも無い。広島と平和公園の戦没者慰霊碑に刻まれた「安らかに眠ってくださいこの過ちは繰り返しませんから」という言葉が、それを分りやすく説いている。戦争で死んでいった人たちに対し、死なずに済んだ我々が他にどんな言葉をかけることができるだろう。戦争を説明し、殺りくを正当化することなどできるはずがない。戦争は「間違い」なのだから、もうしないと誓う他に道はないと、僕は理解している。

だが、妙な理屈をつけて、これを覆そうとする輩が大勢いる。彼らの顔は知らないが、戦争をビジネスにする奴らが世界中にいることは間違いない。恐らく人間は、人間になる以前から戦争を繰り返してきたのだから、これもまた仕方のないことかも知れない。僕は仕事柄、建設業界の談合に幾度も立ち会い、そこに行政も政治もどっぷり漬かってきた実態を見てきた。だから、戦争ビジネスが政治を動かしているとしても、何の違和感も感じない。恐らく、身近な多くの人たちが、もしかすると自分自身さえもが、どこかで戦争ビジネスに加担しているかもしれない。現に日本政府は、核拡散防止条約すら批准できずにいる。だとしたら、戦争放棄とは、これらの人たちを改心させたり駆逐することではないのか。

もしかしたら、本当に人間は「人間になる以前から戦争を繰り返してきた」のかもしれない。人間は「戦争する動物」なのかもしれない。だとしたら、僕はあえて次の進化を遂げてみたい。「人間は戦争をしない動物」と言われるようになってみたい。

<http://nanoni.co.jp/20170814-2/>

.....

2. 今週のお知らせ：3件

a. 夏休み

予定にも書きましたが、今年の夏は、自宅缶詰で作業してます。

田園都市線青葉台付近でしたら、いつでも気分転換に参りますので、気軽に声をおかけください。

<http://nanoni.co.jp/schedule/>

b. 笑恵館 HP リニューアルしました。

これまで漫然と盛りだくさんで判り難かった笑恵館のご案内を、まずは一般来場者向けの分かりやすい内容とし、興味を持った人には笑恵館クラブを説明して入会をお勧めする…という構成にいたしました。

参加者から賛同者を募り、さらに運営者を育てていく「コミュニティづくり」は、一方的にサービス情報を提供する企業のサイトと散って、複雑になりがちです。

でも、開業から3年を経て、笑恵館は持続型の仕組みの構築に向け、新たなステージに入ったということですね。

<http://shokeikan.com/>

c. オンラインサロン終了しました。

Synapse が DMM に吸収されるのを機に、まつむら塾のオンラインサロンを終了することにいたしました。

もともと「まつむら塾」は、IID 世田谷ものづくり学校やアントレハウス駒沢で開催していた「起業マインドサイト」という起業セミナーの延長で、笑恵館で継続していましたが、受講者が減る一方で問い合わせが途切れないうというジレンマを解消するため、オンラインサロンにチャレンジしました。

当初は、サロン内でのやり取りを重視していましたが、書き込みが錯綜し、サロン内がごちゃごちゃになってしまうので、「自習室」というサイトにテキストを公開し、それに関する意見交換や Q&A のみをサロン内で行うことにしました。

自分の考えをテキスト化することはとても面白い作業でしたが、執筆が進むにつれ、全体を見直し再構成したいという欲求にかられ、4月からぱったりと交信が止まってしまいました。従いまして、今回の収量は自業自得と言いますか、参加者の皆さんには少し申し訳ない気分でおります。

そんなわけで、まつむら塾は引き続き進化を続けてまいります。

興味のある方は、気軽にメールでお問い合わせください。

オンラインサービスでなく、個別メールで対応したいと思います。

ではでは！

<http://nanoni.co.jp/p01/>

.....

3. まつむら塾

■開催予定 講義+演習

- ・日程 8/24 (第2,4木金曜日) 19-21時 笑恵館
- ・その他会場募集

まつむら塾を開催させてくださる会場を募集しています。会場提供者は、受講料免除といたします。

■自習室 <http://nanoni.co.jp/juku/>

まつむら塾の講義内容を、自由に閲覧できるサイトです。

■個別メール・まつむら塾

まつむら塾の講義内容について、気軽に質疑を受け付けます。

初回無料、月額 3,000 円～承ります。

.....

4. 今後の予定：今週・来週以降

凡例 ○面談歓迎：来て下さればあなたの面談を優先。

◎呼出歓迎：あなたのお誘いを優先、訪問可能。

●同行可能：僕の訪問先にお連れします。

★参加可能：あなたも参加可能なイベント。

.....

- (月) 8/14 ◎なのに作業日 青葉台で面談可
- (火) 8/15 ◎なのに作業日 青葉台で面談可
- (水) 8/16 ◎なのに作業日 青葉台で面談可
- (木) 8/17 ○作業日 終日笑恵館で面談可
- (金) 8/18 ○作業日 午後から笑恵館で面談可
- (土) 8/19 休業日
- (日) 8/20 ○休業日 青葉台で面談可

■その後のイベント

- 8/22 17-19 時 ★笑恵館クラブ運営会議
- 8/24 18-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館)
- 8/26 10-15 時 ★名栗の森オーナーシップクラブ 7 月例会
- 9/04 19-21 時 ★カプラー起業交流会(三茶)
- 9/09 10-15 時 ★ニッチ大学⑤ (さくまさんち?)
- 9/12 15-17 時 ★日本土地資源協会 経営会議
- 9/12 17-19 時 ★笑恵館クラブ理事会
- 9/14 18-21 時 ★まつむら塾 (笑恵館)
- 9/19 16-18 時 ★笑恵館を学ぼう
- 9/19 18-20 時 ★笑恵館・持ち寄り食事会
- 10/06 19-21 時 ★第 23 回 解決しゃべり会

相談のある人、一杯やりたい人、歓迎です。

松村の予定はこちらで公開しています。 <http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント：問い合わせ先

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携 帯 090-9830-3669 taku8823@ezweb.ne.jp

自 宅 株式会社 なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職 場 一般社団法人 日本土地資源協会(代表理事)

<http://land-resource.org/>

笑恵館 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19

<http://shokeikan.com/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://land-resource.us10.list-manage.com/subscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>

フェイスブックグループはこちら

<https://www.facebook.com/groups/atamanonaka/>